第 18 回報告書 2023 年 9 月 1 日

133.71.201.197のElasticSearch サーバーのデータの移行 について

祖父江匠真

1 概要

今回は、133.71.201.197の ElasticSearch サーバーにある pcs_recyclekan という名前のインデックス以外のインデックスについて調査を行い、133.71.106.141の ElasticSearch サーバーにデータ移行を行った.

2 133.71.201.197のElasticSearch サーバーにあるインデックスについて

図 1に 133.71.201.197 の Elastic Search サーバーにあるインデックスの一覧を示す.



図 1: 133.71.201.197 の ElasticSearch サーバーにあるインデックスの一覧

これらのインデックスが保存しているデータについて説明する.

- pcs_test
 - 恵村君がプログラムの検証目的で使用しているインデックス
- pcs_recyclekan

- リサイクル館の太陽光発電に関するデータを保存しているインデックス
- leaf_load
 - leaf のデータが保存されているインデックス
- pcs_log
 - リサイクル館の太陽光発電に関するデータを ElasticSearch にインサートする Python プログラムのログ情報を保存しているインデックス
- pcs_test4
 - 恵村君がプログラムの検証目的で使用しているインデックス
- leaf
 - leaf のデータが保存されているインデックス
- leaf_grid
 - leaf のデータが保存されているインデックス

なお、leaf、leaf_grid、leaf_load インデックスについて、Kibana で各インデックスのマッピング情報を確認したところ、3 つともすべて同じマッピング情報を保持しており、同じフィールドをを持つドキュメンとをそれぞれのインデックスで保存していることが分かった。

leaf, leaf_grid, leaf_load インデックスのマッピング情報をリスト 1に示す.

Listing 1: leaf と名の付くインデックスが持つマッピング情報

```
1
       "mappings": {
2
         "_doc": {
3
           "properties": {
4
             "@timestamp": {
5
               "type": "date"
             },
             "A1": {
               "type": "float"
             },
10
             "A2": {
11
               "type": "float"
12
13
             },
             "F": {
              "type": "float"
15
             },
16
```

```
"JPtime": {
17
               "type": "date"
18
             },
19
             "P": {
20
              "type": "float"
21
22
             },
             "P1": {
23
               "type": "float"
24
             },
25
             "P2": {
26
               "type": "float"
27
28
             "PF": {
29
               "type": "float"
30
31
             "PF1": {
32
               "type": "float"
33
             },
34
             "PF2": {
35
              "type": "float"
36
             },
37
             "Q": {
38
               "type": "float"
39
             },
40
             "Q1": {
41
               "type": "float"
42
             },
43
             "Q2": {
44
               "type": "float"
45
46
             "S": {
47
               "type": "float"
48
49
             "S1": {
50
               "type": "float"
51
             },
52
             "S2": {
53
              "type": "float"
54
             },
55
             "V1": {
               "type": "float"
57
             },
58
             "V2": {
59
               "type": "float"
60
             },
61
             "data_time": {
62
               "type": "date"
63
```

```
64
              "type": {
65
                "type": "text",
66
                "fields": {
67
                  "keyword": {
68
                     "type": "keyword",
69
                    "ignore_above": 256
                }
72
              }
73
           }
74
         }
75
       }
76
     }
77
```

pcs_test インデックスと pcs_test4 インデックスに関しては, 検証用途で使用しているものであるため, 今回の移行対象からは除外し, pcs_log, leaf, leaf_load, leaf_gridインデックスのみを移行対象とした.

3 データ移行手順について

データ移行手順について、まず移行元の ElasticSearch サーバーのデータをローカルマシンにエクスポートして、移行先の ElasticSearch サーバーにデータをインサートした.

3.1 データのエクスポート

移行元の ElasticSearch サーバーのデータのローカルマシンへのエクスポートには、 elasticdump [1] ライブラリを使用して JSON 形式でエクスポートした。その際、 pcs_log、 leaf、 leaf_load、 leaf_grid という名前のインデックスのデータをエクスポートした.

3.2 データのインポート

ダンプした JSON ファイルを作成した Python プログラムで読み込んで, Python の elasticsearch ライブラリを用いて移行先の ElasticSearch サーバーにインサートした.

移行先のElasticSearch サーバーにおけるインデックス名については、133.71.201.197の ElasticSearch サーバーと同名のインデックスに保存した.

4 データ移行が正常に行えたか確認

図 2に移行元の ElasticSearch サーバーの leaf という文字列を含むインデックスのドキュメント数をカウントしたものを、図 3に移行先の ElasticSearch サーバーの leaf という文字列を含むインデックスのドキュメント数をカウントしたものを示す。図 2と図 3より、ドキュメント数が一致していることからデータ移行が正常に行

図 2と図 3より、ドキュメント数が一致していることからデータ移行が正常に行えたと判断できる.

名前	ヘルス	ステータス	プライマリ	レプリカ	ドキュメント数
☐ leaf_load	• yellow	open	1	1	3123
☐ leaf	• yellow	open	1	1	5070
☐ leaf_grid	• yellow	open	1	1	1948

図 2: 133.71.201.197 の ElasticSearch サーバーの leaf という文字列を含むインデックスのドキュメントのカウント結果

名前	ヘルス	ステータス	プライマリ	レプリカ	ドキュメント数
☐ leaf_load	• green	open	1	1	3123
☐ leaf	• green	open	1	1	5070
☐ leaf_grid	• green	open	1	1	1948

図 3: 133.71.106.141 の ElasticSearch サーバーの leaf という文字列を含むインデックスのドキュメントのカウント結果

次に、図 4に移行元の ElasticSearch サーバーの pcs_log インデックスのドキュメント数をカウントしたものを、図 5に移行先の ElasticSearch サーバーの pcs_log インデックスのドキュメント数をカウントしたものを示す.

図 4と図 5より、ドキュメント数が一致していることからデータ移行が正常に行えたと判断できる.

名前	ヘルス	ステータス	プライマリ	レプリカ	ドキュメント数
□ pcs_log	yellow	open	1	1	1535

図 4: 133.71.201.197 の ElasticSearch サーバーの pcs_log インデックスのドキュメントのカウント結果

名前	ヘルス	ステータス	プライマリ	レプリカ	ドキュメント数
pcs_log	• green	open	1	1	1535

図 5: 133.71.106.141 の ElasticSearch サーバーの pcs_log インデックスのドキュメントのカウント結果

5 まとめ

今回は、133.71.201.197 の ElasticSearch サーバーにある pcs_log, leaf, leaf_load, leaf_grid インデックスを 133.71.106.141 の ElasticSearch サーバーにデータ移行して、各インデックスのドキュメント数を比較することでデータ移行が正常に行えたことを報告した.

次回は、以前 CO_2 データを移行した際に Elastic Search の Bulk API を使用してデータ移行を行ったことが原因で、ラズベリーパイ上で実行している CO_2 データのインサート用のプログラムから移行先の Elastic Search サーバーのインデックスにインサートが出来なくなった問題について、以前データ移行を行った pcs_recyclekan インデックスについても Bulk API を使用しており、将来同じ問題が発生する可能性があるため、解決方法を調査する.

参考文献

[1] Ferron H, "ElasticDump ", https://github.com/elasticsearch-dump/elasticsearch-dump, 参照 June 19,2023.